

学校だより 【福の里】

川越市立福原中学校

校長 長田 茂樹

2023. 11. 22 発行

第 7 号

【目指す学校像】生徒全員が輝くことができる福原中学校

《 福 中 生 の 輝 く 笑 顔 は 福 中 の 宝 物 》

【福原小中目指す児童生徒像】小中9年間でキラリ！かがやく福原っ子

【目指す生徒像】

☆思いやりのある生徒

☆自ら学び、自ら考え、自ら行動する生徒

☆やり遂げる力を持った、たくましい生徒

☆自校を愛し、郷土を愛し、その発展に尽くす生徒

「福中4つの伝統」と「彩の国教育週間での教育活動」

本県では11月1日を「彩の国教育の日」として最も教育に力を入れる日、11月1日から11月7日までの1週間は「彩の国教育週間」として最も教育に力を入れる1週間としています。さらに、「彩の国教育週間」前後の約2週間は学校行事を位置付け、学校公開をする学校が多いです。福中でもこの期間、福中生と教職員、そして、保護者の皆様と一緒に全力で教育活動に取り組みました。福中には4つの伝統「あいさつ・歌声・清掃・ボランティア」があります。福中生は4つの伝統をととても大切にしています。現在、3年生と校長面接を行っています。3年生に「福中の自慢、良いところは何ですか。」と尋ねると、4つの伝統を答えることが多いです。その他、男女関係なく、先輩後輩関係なく仲が良いと答えます。10月24日(火)にウエスタ川越で実施した合唱祭には282名の保護者の方に来ていただいて福中生の心のハーモニーを聞いてもらいました。今回は各クラスの自由曲発表に加えて、課題曲学年合唱と全員校歌合唱を行いました。課題曲学年合唱は各学年の団結した力強い美しいハーモニーを響かせました。全員校歌合唱は福中生、教職員、保護者の心を1つにして心のハーモニーをつくりあげました。合唱祭の当日まで校内、グラウンド、どこからでも歌声が聞こえてくるほど福中生は歌、合唱を愛していると思えました。4つの伝統の「歌声」を大切にしています。仲間との絆を深めた実にすばらしい物語を合唱祭でつくりました。11月1日(水)は校則改正を施行しました。生徒会本部役員が中心となって校則を見直し、施行を実現しました。これまで、生徒会本部役員は本部で検討した提案を各クラスに示し、意見を聞き、教職員や福原小学校PTA本部、福原中学校PTA本部と協議し、施行日を迎えたのです。歴史的瞬間でした。11月6日(月)は埼玉県教育委員会と川越市教育委員会による学校指導訪問がありました。福中生の様子、授業の様子、校舎内の環境の様子等を見てもらい、指導・助言をいただきました。最後に教育委員会から生徒の表情がとても豊かであいさつをよくしています、校内がとてもきれいであることから清掃をしっかりとしていると思えます、生徒は餅つき大会をととても楽しんでいます、笑顔があふれています、とお話がありました。福中生のことをたくさん誉められて大変うれしかったです。11月11日(土)は第33回ふくはらまつりが福中体育館で盛大に開催されました。コロナ禍で3年間開催することができなく4年ぶりの開催となりました。4年前のことをよく確かめながらこれまでふくはらまつり実行委員会のみなさんは7月から何回も会議を開き、福原地区の地域のみなさんのために進めてきました。私も実行委員として会議に参加しました。実行委員のみなさんの「地域の笑顔は、地域でつくる」という思い・願いを強く感じました。川越市長様、教育長様をはじめ、多くの御来賓の方が福原中学校を訪れました。福中吹奏楽部によるオープニング演奏は見る人、聞く人をととてもあたたかい気持ちにさせてくれました。福中1年生、2年生、3年生代表生徒の人権作文発表は会場にいるすべての人の心を響かせました。福原公民館に展示した福中美術部の絵画は見る人を深く感動させました。福小体育館で行ったこどもまつりは福中生がボランティア参加として小学生を笑顔にしました。11月17日(金)は餅つき大会デモンストレーションを実施しました。12月1日(金)の川越市民の日で開催される本番のためにPTA本部役員及び実行委員、学年委員、餅つき協力員の皆様におかれましては福中生の輝く最高の笑顔のためにありがとうございました。